

Kainan East Rotary

DISTRICT 264

CLUB WEEKLY BULLETIN

才 535 回 例 会 昭和61年 7 月 7 日 (月) 午後 6 時 30 分
於 海南商工会議所

1. 開 会 点 鐘 追田博司 会長
2. 国 歌 斉 唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「我等の生業」
4. ビジター紹介 廣橋健史様 (粉河 RC)
5. 出席率の報告 会員総数 66名 出席者数 53名
出席率 81.53% 前回修正出席率 100%
6. 乾 盃 岡本 正 副会長の音頭
「新年度のスタートと自民党の大勝を記念して」
7. バッチ 交換 西岡 豊 前会長 と 追田博司 新会長
小嵐俊和 前幹事 と 山野 明 新幹事
8. 会長スピーチ 追田博司 会長 <要旨>

昨日は衆参両院のW選挙が行われ、本日は七夕であるが、私共新役員の任期がスタートした。

七夕は、女の子の成長を祈願するお祭の日であるが皆様のご協力を得て新役員としての成長を遂げてゆきたい。

今年度の方針は、マット・キャパラス新 R I 会長の R I テーマである「ROTARY BRINGS HOPE」(ロータリーは希望をもたらす)を意に対して、積極的な活動を行っていきたいが、特に

- (1) 出席率の向上、100%出席率を目指して努力する
- (2) 会員数も相当増加したので、今後は人選を慎重に行いたい。
- (3) ファイヤー・サイドミーティングの開催回数を増加する。
- (4) 例会プログラムで、会員卓話を増加する。
- (5) 会報委員会と出席委員会の活動強化に意を注ぎたい。
- (6) 広報活動を強化し、地域社会の当クラブに対する理解の向上を計りたい。
- (7) 江東 RC との交流は引続き発展させていきたい。当クラブは、非常になごやかな、よくまとまったクラブである。この伝統を大切に皆さん共々頑張っていきたいので、どうかよろしく願います。



**ROTARY
BRINGS HOPE**

ロータリーは希望をもたらす

M.A.T.

M. A. T. カパラス

1986—87年度 R. I 会長

事務所

海南市日方1294 海南商工会議所内

TEL (07348) 3-0800

例会日

毎週月曜日 12時30分

♣ 才 1 例会のみ 18時30分

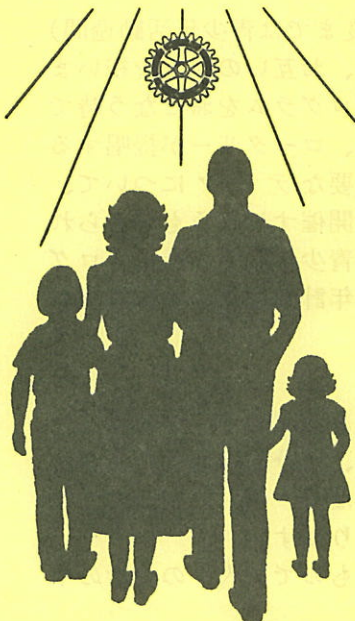
於海南商工会議所 4 F

会長 追田博司 幹事 山野 明

会報委員会 ◎深谷 ○上中・田村

田中・橋本・早川

**ROTARY
BRINGS
HOPE**



9. 幹事報告 山野 明 幹事

○ 才1回理事会を次の水曜日、木村屋で開催します。

10. 委員会報告

○ 小嵐俊和 前幹事 旧年度の決算ができたので、旧役員のご参集をお願いします。

○ 宇恵弘純 80会コンペ開催に関する件。

11. 新入会々員の紹介

大沢祥宏君より、新会員 山東剛一君の紹介あり。

ニコニコ・米山・BOX

会員誕生日	宮田敬之佑君 7/10	田中丈史君 7/16	中野弥太郎君 7/22
	西岡 豊君 7/25		
奥様誕生日	角谷 元子様 7/4	田村千恵子様 7/6	追田ヨシミ様 7/13
	島村 和子様 7/21		
結婚記念日	尾初瀬恭生君 7/25		
	山東 剛一君	新入会しました、よろしく。	
	大沢 祥宏君	山東君を紹介しましたので。	
	田村 能孝君	前に坐ってマイクを持ちました。	
	土岐甚五郎君	海南市商店街連合会々長に就任しました。	
	追田 博司君	向う1年間よろしくご協力を。	
	山野 明君	新年度、どうかよろしく。	
	山下 倫弘君	どうかよろしく。	
	岡本 正君	同じく。	
	西川 富雄君	同じく。	

情報抄録より

青少年活動月間、目前に

年に1回9月に催される青少年活動月間(1982~83年度までは青少年活動週間)の期間中、青少年とロータリアンは、いっしょになって、お互いの活動を祝います。この月は、青少年のニーズと機会を強調する特別プログラムをおこなう時です。この特別月間のあいだ、ロータリー・クラブ会員は、ロータリーが提唱する青少年グループの会合に出席したり、若い人にとって重要なテーマについて、指導者会議や、地域社会懇談会といった、プログラムを開催するようもとめられます……青少年活動月間はまた、ロータリー・クラブが青少年への奉仕のプログラムを検討し、翌年のためにもっとも必要度の高い青少年計画をきめる時期でもあります。

ロータリーの不思議な力とは…

……名称でも数字でもありません。徽章でも標語でもありません。それは奉仕であります。仰々しい理想や立派な目標を語るのではなく、自分達の理想や目標を日常生活に生かします。それは、理念を発表することではなく、個人の生活に、また、職業および社会生活に理念を実践していくことであります。この不思議な力はロータリーの真髄とも動力とも言えるもので、人々の生活の中に友好的な奉仕として姿を現します。

チャールズG.テンネント、国際ロータリー元会長(1957-85年度)